

富県社協力第148号
平成29年6月27日

各 位

社会福祉法人富山県社会福祉協議会
会 長 岩 城 勝 英
[公 印 略]

「平成29年度福祉用具・アイデアコンクール」の実施について
(作品募集のご案内)

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、本会の事業推進につきましては、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会福祉カレッジ 介護実習・普及センターでは、介護知識・技術の普及啓発の一環として「豊かな暮らしをつくりだし、生活を支援する福祉用具」をテーマに、高齢者や障がい者の生活の自立と介護者の介護負担の軽減を図り、生活を豊かで快適にする福祉用具のアイデアを別紙要綱により募集いたします。

つきましては、この趣旨にご理解をいただき、職員の方々や関係者の皆様をはじめ、広く県民の皆様からの応募についてご配慮下さいますようお願い申し上げます。

なお、各部門の入賞者につきましては、平成29年11月18日（土）開催予定の表彰式において、賞状及び副賞を贈呈しますことを申し添えます。

記

1 同封書類

- ・平成29年度福祉用具・アイデアコンクール作品募集案内パンフレット
- ・応募用紙（2種類）

<担当>

富山県福祉カレッジ

富山県介護実習・普及センター 村上

〒930-0094 富山市安住町5-21

Tel 076-432-6305 Fax 076-432-6307

The background of the top half of the page is a bright blue sky with soft white clouds. Scattered across this background are several stylized flowers: two yellow flowers with white centers, two pink flowers with white centers, and two blue flowers with white centers. The main title is centered and consists of four lines of text. The first line is '平成 29 年度' in dark blue. The second line is '福祉用具' in large, bold pink letters with a black outline. The third line is 'アイデア' in large, bold green letters with a black outline, featuring a small green pencil icon above the 'イ' and a yellow lightbulb icon above the 'ア'. The fourth line is 'コンクール' in large, bold yellow letters with a black outline, featuring a small yellow lightbulb icon above the 'ウ' and a small green pencil icon above the 'コ'. To the left of the 'コンクール' text are three small, colorful rectangular shapes (blue, red, and green) arranged in a fan-like pattern. Below the main title is an illustration of an open book with a yellow lightbulb above it.

平成 29 年度
福祉用具・
アイデア
コンクール

募 集 案 内

富山県

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ

富山県介護実習・普及センター

平成28年度福祉用具・アイデアコンクール 受賞作品

富山県知事賞



	作品名	作品イメージ	出品者	作品解説
一般部門	いろんなところから脱げるんです！		富山短期大学 福祉学科 知性・教養・個性 野手 沙月さん 柴田 由貴さん 湊 川 加奈子さん	施設実習の際、肩関節などの可動域が狭くなった利用者さんが、更衣で苦労されているのを目の当たりにしたことがきっかけで考案した。ファスナーを開閉することによって、服を脱がなくても肩や背中に湿布を貼ったり、薬を塗ったりすることができる。
高校生部門	のばせるハンガー		富山県立桜井高等学校 松本 法子さん	家族が、肩が上がらず、ハンガーをかけられない時があると言っていたので、肩を上げなくてもかけやすいハンガーを作ろうと思った。肩を上げられない人が無理に肩を上げなくても、物干し竿に掛けることができる。また、高いところにもハンガーをかけることができる。

優秀賞



	作品名	作品イメージ	出品者	作品解説
アイデアの部 一般部門	ねたきり者及び介護者ともに負担なく着脱できる改良ズボン		安達 穂子さん	余命1カ月と宣告された夫を2カ月間介護したとき、病衣のズボンでは伸縮性もなく、はかせるのに時間と労力がかかった。オムツ交換の際、本人も自分もつらい思いをしたことから考案した。はかせるズボンを、赤ちゃんのレギンスのようにスナップ留めにした。スナップは、かけ違いをしないよう、大・中・小を利用し工夫した（色違いでもOK）。ねたきりの方のオムツ交換に最適。
アイデアの部 一般部門	スタンディングサポーター		特別養護老人ホーム やすらぎ荘 高嶋 好美さん	立位は可能だが、立ち上がりが困難な方が、自分でも楽に立ち上がれたらいいだろうと思い考案した。クッションなので、車いすにおいてもリビングにおいても使える。自分で、自分の体に合った都合の良い高さに腰を押し出して、立ち上がりをサポートしてくれるもの。
作品の部 一般部門	足上げ楽ズボン		富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 高澤 秀幸さん	麻痺のある患者さんが、車いすで麻痺側の足を上げるのに苦労していたため考案した。太腿部分に健側の手を入れることで、麻痺足が上げやすくなり、フットレストに乗せやすくなる。また、ズボン後面には滑り止めを付け、足が落ちないようにした。
アイデアの部 高校生部門	一緒にいこcar		富山県立高岡西高等学校 徳田 葉月さん	ひとりで歩いて買い物に来ていて、帰る時に重そうに荷物を持ちながら帰っている高齢者をよく見かけるので考案した。買い物などの帰りに、重い荷物をカートに入れて歩くと、その人の速度に合わせてついてきてくれたり、止まったりして目的地まで荷物を運ぶことができる。使用する人が腕時計の感覚でセンサーを手首につけておくだけでついてくる。
作品の部 高校生部門	サイフのふたをあけると電気のつくサイフ（明るいサイフ）		富山県立雄峰高等学校 MT ³ 松原 咲樹さん 辻 角 優華さん 武隈 成美さん 筒井 紗奈さん	高齢者疑似体験を行った際、自動販売機で財布から小銭を出した時に、暗いと財布の中の小銭を識別することができなかったため考案した。財布のふたを開けることで、財布の中に電気が点く。明るくなることで、小銭の識別ができるようになる。
作品の部 高校生部門	スケジュールボード		富山県立雄峰高等学校 にえんじえるず 坂本 彩叶さん 大松 実由さん 朝倉 真美さん	高齢者も介護士も一日のスケジュールを把握することができ、便利だと思ったので考案した。プレートに色を付けたり、絵を描いて分かりやすくしたりすることで、高齢者の方にも見やすくした。

高齢になっても、障害があっても、誰もが快適に安心して過ごすための「あったらいいな！」を考えてみませんか？みなさんのご応募お待ちしております！



1. 趣 旨

「豊かな暮らしをつくりだし、生活を支援する福祉用具」をテーマに、高齢者や障害者の生活の自立支援と介護者の負担の軽減を図り、人々の生活を豊かで快適にする福祉用具のアイデアや作品・製品を広く募集し、優れた応募作品を表彰します。

本コンクールは、人々の暮らしをより向上させる福祉用具への関心を高めるとともに、利用者ニーズを発掘し、県内の優れた産業技術との融合による富山県産福祉機器の開発を目指すことも目的としています。

2. 募集内容

(1) 応募資格

県内在住・在勤の個人またはグループ及び県内企業（県内に本社が在する企業に限る）

(2) 募集内容

(2)募集内容

	1) アイディアの部		2) 作品の部	
	内容	提出書類	内容	提出書類
①一般部門 (個人またはグループ)	生活を豊かで快適にする福祉用具のアイデアを募集します。 市販製品やリサイクル品を改良し利用するアイデアを含みます。	応募用紙 (様式1)	生活を豊かで快適にする手作りの福祉用具を募集します。 独自に考案した介護用品、市販製品の改良やリサイクル品への工夫を含みます。	応募用紙 (様式1) 及び 作品
②高校生部門 (個人またはグループ)				
③製品開発部門 (企業・学校・個人)	内容			提出書類
	福祉用具等に関する独自の開発製品を募集します。市販製品、試作品を問いません。ユニバーサルデザイン、共用品等の福祉関係製品のほか、介護支援ロボットや見守りロボット、コミュニケーションロボット等も対象とします。 ※製品本体の搬入については、別途連絡します。			応募用紙 (様式2) 及び 製品のパンフレット、仕様書等

※①、②については未発表の作品に限ります。

※非衛生的なもの、壊れやすいものや危険なもの等は全ての部門で募集の対象外とします。

(3) 応募受付期間

平成29年8月1日🔥～9月5日🔥



(4) 応募方法

各部門で必要な書類等をそろえ、応募期間内に各部門の応募先へ郵送または直接提出してください。
作品については、製作した実物を提出してください。

(5) その他

優れたアイデア及び作品については作品集に掲載しますので、以下の点にご協力を願います。

- ・応募用紙に記載する図やイラストは、できる限り単純・明瞭に記載してください。
- ・黒マジックやBの鉛筆を使用する等、濃く記載してください。
- ・応募用紙に貼付する写真は、鮮明ではっきりわかる写真を添付してください。
- ・使用方法等をまとめた電子媒体やビデオ等があれば、一緒に提出されても構いません。
提出いただいた電子媒体・ビデオ等は、作品と共に返却します。

3. 審査・表彰等

(1)審査

学術関係者、福祉関係者等により構成される審査会において審査します。

一般部門、高校生部門、製品開発部門それぞれにおいて、富山県知事賞を1点、優秀賞を若干数、その他の賞を若干数選出します。

(2)表彰

平成29年11月18日(土)の表彰式において各部門の入賞者を表彰します。入賞者には賞状と副賞を贈呈します。なお、入賞者を除く①、②の個人及びグループ、③の学校及び個人には別途参加賞をお渡しします。

(3)作品展示

表彰式終了後、富山県総合福祉会館（サンシップとやま）2階のモデルルームにて、入賞作品と一般部門・高校生部門の作品の部及び製品開発部門への応募作品全てを展示します。

(4)応募作品の取扱

展示終了後、返却します。（返却期間については後日連絡します。）

(5)実用新案・特許等について

コンクールでは発表及び展示をしますので、出願をお考えの方は、事前に実用新案及び特許等の手続きを済ませておいてください。

(6)搬入・搬出について

書類及び作品（製品）の送付、搬入・搬出にかかる経費は応募者の負担になります。

また、作品（製品）の送付、搬入出時のやむを得ない事情等により破損した場合の補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。

4. 主 催

富山県

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 富山県介護実習・普及センター

5. 後 援

一般社団法人 富山県介護支援専門員協会／一般社団法人 富山県介護福祉士会

公益社団法人 富山県看護協会／一般社団法人 富山県作業療法士会

一般社団法人 富山県身体障害者福祉協会／富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会

富山県福祉機器開発推進会議／富山県ホームヘルパー協議会／一般社団法人 富山県理学療法士会

富山県老人福祉施設協議会／一般社団法人 日本福祉用具供給協会 東海北陸支部 富山県ブロック

応募先・
お問い合わせ先

富山県介護実習・普及センター「福祉用具・アイデアコンクール」係

〒930-0094 富山市安住町5番21号 富山県総合福祉会館（サンシップとやま）2階

Tel : 076-432-6305 Fax : 076-432-6307

平成29年度 福祉用具・アイデアコンクール応募用紙 (一般部門・高校生部門)

1 応募部門 (※いずれかに○印をつけてください)

- ①-1) 一般部門 (アイデアの部) ①-2) 一般部門 (作品の部)
②-1) 高校生部門 (アイデアの部) ②-2) 高校生部門 (作品の部)

2 応募者氏名 (※グループ応募の場合は代表者について記載してください)

氏 名	フリガナ
性 別	男 ・ 女 ※いずれかに○をつけてください
年 齢	歳
所属/学校名	

3 グループ名 (※グループ応募の場合のみ記載してください)

グループ名	フリガナ
-------	------

4 メンバー (※グループ応募の場合のみ、代表者以外の所属と氏名を記載してください)

所属/学校名	氏 名
	フリガナ
	フリガナ
	フリガナ
	フリガナ

5 連絡先

連絡先名称	自宅 ・ 職場 ・ 学校 ※いずれかに○をつけてください 【職場・学校等の場合は下記に名称を記入してください】
連絡先住所	〒
TEL/FAX (日中連絡のつく番号)	TEL FAX
応募担当者氏名 (施設・学校等でまとめて申し込む場合)	

6 作品名

--

7 作品のイメージ図 または 作品の写真

◆一般部門および高校生部門のアイデアの部

作品のイメージを、図やイラスト等で使用方法が分かるように記載してください。

作品集に掲載しますので、黒マジックまたはBの鉛筆で、できるだけ濃く、はつきりと記載してください。

◆一般部門および高校生部門の作品の部

作品の写真を貼ってください。使用方法が分かるように、できるだけ鮮明に撮影してください。

--

8 作品を考えるきっかけとなったこと

9 作品の用途・特徴

10 材料費 ※一般部門および高校生部門の作品の部に応募の場合のみ記載してください。

--

【事務局記入欄】

①	②	③	④	⑤	結果	備 考

平成29年度 福祉用具・アイデアコンクール応募用紙 (製品開発部門)

1 企業名/学校名 (※個人で応募される場合は未記入のままで結構です)

企業名/学校名	フリガナ
---------	------

2 応募者氏名 (※企業・学校からの応募の場合は、その代表者について記載してください)

氏 名	フリガナ
性 別	男 ・ 女 ※いずれかに○をつけてください
年 齢	歳
所 属	

3 メンバー (※個人で応募される場合は未記入のままで結構です)

所 属	氏 名
	フリガナ
	フリガナ
	フリガナ
	フリガナ

4 連絡先

連絡先名称	職場 ・ 学校 ・ 自宅 ※いずれかに○をつけてください 【職場・学校等の場合は下記に名称を記入してください】
連絡先住所	〒
TEL/FAX (日中連絡のつく番号)	TEL FAX
E-mail	
応募担当者氏名	

5 助成金について (※開発にあたり助成金を受けている場合は下記にご記入ください)

助成金の名称	
--------	--

6 受賞歴について (※受賞歴がある場合は下記にご記入ください)

コンクール・コンテスト等の名称	
受賞年度 及び 賞の名称	

7 製品について

商 品 名					
目的や機能を表現した 一般的な名称					
主な対象者 ※該当するものに○印をお願いします	①肢体不自由 ④高齢者	②視覚障害 ⑤発達障害	③聴覚障害 ⑥その他 ()		
機器分類 ※該当するものに○印をお願いします	①訓練用具・義肢装具 ④入浴用品 ⑦コミュニケーション用具	②衣服・靴 ⑤移動機器 ⑧その他 ()	③トイレ用品 ⑥建築設備等		
開発段階 ※該当するものに○印をお願いします	①企画	②研究試作	③開発試作	④製品試作	⑤市販
製作・開発期間	年 ヶ月				
市販開始時期	平成 年 月 / 未定				
販売価格及び実績 ※市販されていない場合は 市販化の可能性について記載してください					

◆製品の写真を貼ってください

※もしあれば本応募用紙に製品のパンフレットや仕様書等を添付してください

【事務局記入欄】

①	②	③	④	⑤	結果	備 考